

令和8年度 アオコ情報（河川 No. 14）

9月1日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}の最大値は、新川でアオコレベル2相当^{※2}、備前川でアオコレベル3相当、土浦沖合でアオコレベル1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：183 µg/L）、新港橋及び新川河口沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：11～20 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：2210 µg/L）、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：181～244 µg/L）、でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：68～75 µg/L）でした。

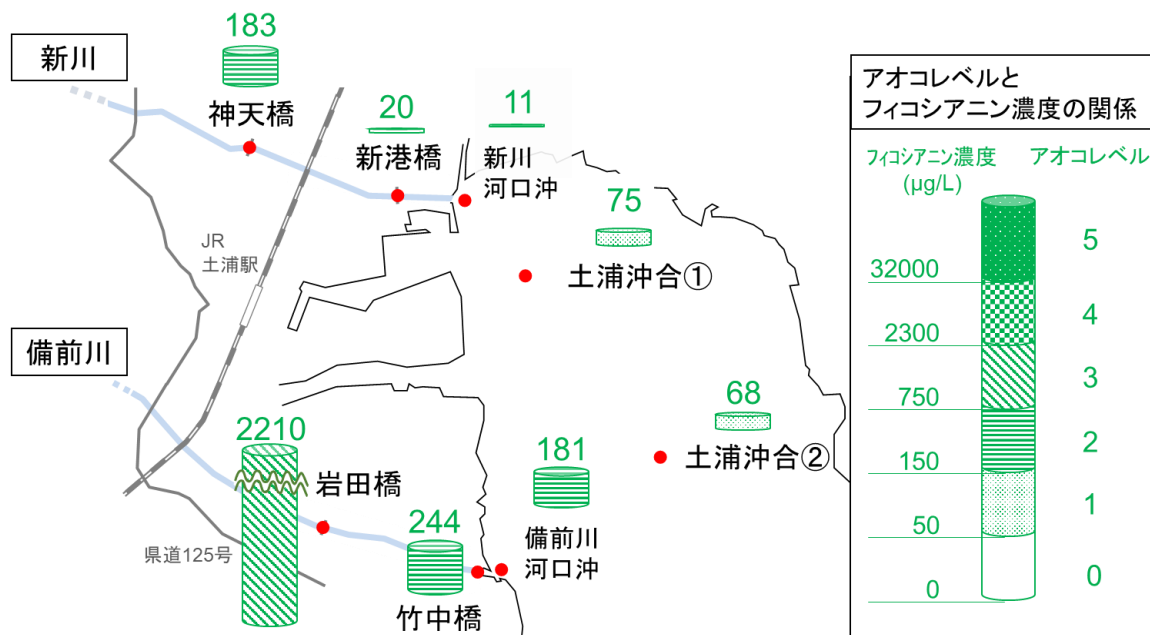


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日	9月1日
	10:03	9:51	9:34	10:28	10:41	9:10	9:27	9:20
水温 (°C)	24.7	26.5	26.5	25.5	26.0	25.6	25.7	26.2
pH	8.1	8.0	8.0	8.1	8.1	8.7	8.3	8.4
EC (mS/m)	25.4	46.5	44.9	29.7	29.3	29.8	28.8	29.6
透視度 (cm)	23	> 50	> 50	6	13	16	15	12
フィコシアニン (μg/L)	183	20	11	2210	244	181	75	68
クロロフィル a (μg/L)	114	18	6	1310	121	76	35	38

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

